第４学年国語科「すじ道を立てて説明しよう　ー『くらしの百科』の時間ですー」単元構想図（総時間 15時間）

本単元で必要とされる既習の基礎的・基本的な知識・技能及び考え方

（３年）

「わたしたちのお気に入りの場所」
　①　話の中心を考えて、分かりやすく話したり聞いたりする。
　②　お気に入りの場所を紹介するための発表台本を書く。
「もうどう犬の訓練」
　③　考えたことや調べたことを、グループで話し合う。
「『わたしの研究レポート』を書こう」
　④　伝えたいことの中心を明確にして書く。（レポート）

（４年）

「知らせたい、あんなことこんなこと」
　⑤　必要なことを落とさずにメモを取りながら聞く。
　⑥　大事なことを事柄ごとにまとめて話し、メモを取りながら聞く。
「自分新聞を作ろう」
　⑦　読み手を意識し、構成を考えて新聞記事を書く。

【指導計画】

時	主な学習活動・内容	基礎的・基本的な知識・技能及び考え方の活用		活用を促進するための手だて
1	身の回りの「生活の工夫」を想起しながら教材文を通読し、感想を話し合う。 A　課題作り B　学習の見通し 言　教材文を読み、感想をまとめて話す。	①	教材文の要旨をとらえ、初発の感想を話し合うことを通して、課題をもち、学習の計画を立てる。	児童の感想を課題ごとに整理し、児童の「やってみたい」という興味・関心を高める。
2 3	教材文の３つの事例から発表してみたい事柄を選び、グループごとに役割を決め、練習し、発表する。 C　聞き手の興味をひく発表方法 D　劇 言　聞き手を引きつける話し方を意識して発表する。	① ③	教科書に示してある、課題や発表の方法をグループで選び、聞き手を引きつける方法を使って発表する。	教科書の事例に取り組むことにより、発表の方法を学び、次の自分たちの発表に生かすようにする。
4	発表について、よかった点や改善したらよい点などを伝え合う。 E　相手に伝わる発表の仕方・工夫 言　他のグループによかった点や改善点を伝える。	①	友だちのアドバイスや「話し方あいうえお」を基に、自分たちの発表を振り返り、話し方や効果的な発表について考える。	「アドバイスカード」に、「間・声の大きさ」等の観点を入れ、よかった点、改善点を整理させる。
5 6	グループでどんな「生活のくふう」を調べるか決め、いろいろな方法で取材し、メモに整理する。 F　メモの取り方 言　取材したことをメモに整理する。	③ ④ A	自分たちの興味をもった課題について、必要な事柄を調べ、要点をメモする。	メモに書く項目を確認し、調べる方法を示す。
7 8	調べた「生活のくふう」の中でどの事柄を紹介するか、どのような方法で紹介するかを決定する。 言　発表の順序や方法を話し合う。	① ③ B C D	聞き手の興味をひきながら内容が分かりやすい発表になるように、発表の順序や方法について考える。	教科書の発表の事例や、前時で自分たちが発表した方法を想起させ、発表方法の見通しをもたせる。
9 10	決定した紹介の順序や方法にしたがって台本を作る。 G　順序を表す言葉 H　理由を示す言葉 I　聞き手の興味をひく表現 言　順序や理由を示す言葉を使って台本を書く。	② ④	台本を作成する際の注意点を確認しながら、「生活のくふう」の内容やそのよさが聞き手に伝わるように台本を書く。	「台本を書くときに気を付けること」を箇条書きに示したワークシートを用意し、自分たちの台本作成に生かすようにさせる。
11 12	発表の練習を行い、気付いた点や直した方がよい点を台本に書き込む。 言　台本に付け加えや訂正を書き込む。	⑤ E F	聞き手に伝わる話し方を明確にし、声の大きさや速さ、区切るところ、強調する言い方等の工夫を書き込む。	グループごとにビデオに撮って、自分の発表を客観的に振り返り、自分たちの課題や改善点を共有できるようにする。
13 14 本 時	**発表会を行い、グループごとに発表しながら感想や意見を交換する。 J　役割に合った言葉遣いや話し方 K　動作や資料の提示の仕方やタイミング 言　役割に合った話し方をする。**	**⑤ E F I**	**紹介したい「生活のくふう」について、分かりやすく筋道を立てて説明したり、発表の内容をメモしながら聞いたりする。**	**聞く観点を示したワークシートを用い、聞き手の意識を高める。**
15	３年生に発表をし、３年生からの意見や感想を聞いて、学習の振返りをする。 言　学習の振返りを観点ごとに行う。	④ E	自分の発表を振り返ったり、３年生の感想を読んだりして、学習のまとめをする。	振返りの観点を示したワークシートを用い、自己評価をさせる。